

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2013/9/18 実施)～

2013/10/18 作成 参加人数: 5名、文責/編集: 相澤*、写真: 相澤・三井

*この観察日記は参加者からいただいた感想を基に作成しております。

今月のテーマは『小さい秋、〇〇な秋探し』としたのですが、『もう小さい秋ではなかった、実りの秋へ急ピッチといった感じ』とのご意見もありました。暑さが残る日だったのですが、生き物達はしっかりと秋を感じているようです。

◇小さい秋

シロバナサクラタデ



ツルマメ



秋の使者



真っ赤な赤とんぼがロープに止まっており、皆で『こりゃ秋だ』と声を揃えました。しかし帰ってきてから写真をよく見てみると、これはナツアカネのようです(胸の横の模様で判断します)。名前は『ナツ』ですが、秋になると赤味が増すトンボですので、小さな秋と言っても良いでしょう。

風が描く秋のキャンバス



快晴、青い空、風がちょっとひやっと感じられ、秋そのもの。ヨシ原を揺らしていた。ヒメガマが曲線を描いてそれぞれ揺れていたものが幾何学模様に見えたことから、風が描く秋のキャンバスという言葉が思いついた。上の写真は風に揺れる川側湿地のヨシ。

ヒメガマの幾何学模様



ソクズの実



◇豊穣の秋

シラカシ



イヌシデ



きのこがニヨキニヨキ



タコノアシ



◇豊穣の秋予備軍?

キツネノマゴ



キツネの尾の様な花穂が青々と伸びてきていました。

ジュズダマ



ネックレス作りにはまだまだ青い。光沢を持った堅い実がたくさんなるのが楽しみです。

◇カヤツリグサの秋

ヒメクグ



カヤツリグサ



ヌマガヤツリ



アゼガヤツリ



10月の湿地の観察会は10月21日(月)の9:30から行います(小雨決行)。いつもと違い**月曜日**なので注意して下さい。公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内でお弁当を食べます。青い植物が見られるのは10月まで。豊穰の秋はさらに深まっていますでしょうか？

お問い合わせ (千葉大・相澤)

E-mail : akihitoaizawa@gmail.com